

任意予防接種(おたふく・ロタウイルス) 費用の助成を行います

大山町では、感染症予防対策及び子育てに係る経済的負担軽減のため、平成30年4月1日以降に接種された任意予防接種(おたふく・ロタウイルス)費用の助成を行います。接種にあたっては、下記及び裏面の説明をよくご覧いただき、ワクチンの効果や副作用について、医師とよく相談したうえで保護者さまの判断で接種を受けてください。

助成対象予防接種の種類・対象年齢など

種類	対象年齢	回数	助成額※
おたふくかぜ	1歳以上就学前まで	1回	上限 2,000 円
ロタウイルス	ロタリックス	生後6週から24週未満	2回 1回上限 6,000 円
	ロタテック	生後6週から32週未満	3回 1回上限 4,000 円

※ 接種費用が助成額の上限に満たない場合は、その額が助成額となります。

※ 生活保護世帯、住民税非課税世帯の方の助成額は、接種費用全額となります。

申請の方法

- ①接種費用全額を医療機関の窓口でお支払いいただき、町へ助成金の交付申請をしてください。
- ②申請手続きは、接種した日から1年以内に行ってください。

【受付窓口】こども課(保健福祉センターなわ)・住民課(役場本庁)・各支所総合窓口室

必要書類等

- ①大山町任意予防接種費用助成金交付申請書(様式第1号)
- ②医療機関発行の支払額を証明するもの(予防接種名の記載のある領収書の写し等)
- ③医療機関発行の接種済証又は母子健康手帳の写し
- ④印鑑及び振込み口座のわかるもの

注意事項

- ①助成対象は、平成30年4月1日以降に接種されたものに限りです。
- ②接種の際は必ず母子健康手帳を持ってお出かけください。

《裏面も必ずご覧ください。》



任意予防接種(おたふくかぜ・ロタウイルス)について



任意予防接種は、予防接種法で定められた予防接種ではありません。

ワクチンの効果や副作用について医師とよく相談し、保護者の判断で予防接種を受けてください。

1 おたふくかぜの説明とワクチンの効果及び副反応について

おたふくかぜは、ムンプスウイルスの感染による耳や顎の下の腫れと強い痛みが特徴で流行性耳下腺炎とも呼ばれています。合併症で最も多いのは、無菌性髄膜炎で、他に脳炎、膵炎などがあり、難聴を起こすこともあります。男性では精巣炎、女性では卵巣炎を合併することもあります。発病は3～6歳が多いことを考慮すると、3歳より前にワクチンを接種することが勧められています。

ワクチンの効果は80%程度と考えられています。ワクチンを受けていたにもかかわらず発症した人のほとんどは、軽くすんでいます。(厚生科学審議会予防接種部会・おたふくかぜワクチン作業チーム報告書)

副反応は、耳の下が軽く腫れたり、微熱が出たりすることがあります。無菌性髄膜炎の報告は、1,600～2,300人に1例程度です(ワクチン添付文書から)。

2 ロタウイルス感染症の説明とワクチンの効果及び副反応について

ロタウイルスによる胃腸炎は、急激な嘔吐と水様性の下痢便を頻回に排泄し、発熱が3割～5割程度みられます。脱水が進み、重症化するとけいれん、腎不全、脳炎・脳症などを合併することがあります。初めてかかると重症になる可能性があり、1回目の接種は生後14週6日までにを行うことが推奨されています。

先進国・途上国を問わずワクチン導入後、ロタウイルス感染症は劇的に減少しています。さらに、直接効果だけでなく集団免疫効果も認められています。

接種後、腸重積症状(ぐったりする、顔色が悪い、繰り返し起きる嘔吐、血便、お腹の張り)がみられた場合は、診察を受けるようにしてください。

3 任意予防接種による健康被害

予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化が現れたら、すぐ医師に相談してください。

任意予防接種によって、万一入院を必要とする程度の疾病や日常が著しく制限される程の障がいなどの健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による救済制度があります。フリーダイヤル0120-149-931(平日9時～17時 祝日・年末年始を除く)にお問い合わせ、ご相談ください。